

貸借対照表
(2024年10月31日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
【流動資産】	768,483	【流動負債】	148,888
現金及び預金	662,590	買掛金	2,427
売掛金	36,302	短期借入金	4,900
仕掛品	56,935	1年以内返済予定の長期借入	21,762
貯蔵品	5,652	未払金	2,081
前払費用	3,876	未払費用	39,611
その他	3,127	未払法人税等	530
		前受金	67,832
		その他	9,743
【固定資産】	113,716	【固定負債】	173,985
有形固定資産	56,284	長期借入金	173,985
建物	2,142	負債の部合計	322,873
機械装置	1,082	【株主資本】	554,973
工具器具備品	53,059	資本金	100,000
無形固定資産	48,479	資本剰余金	651,433
ソフトウェア	48,479	資本準備金	648,347
投資その他の資産	8,952	その他資本剰余金	3,086
出資金	20	利益剰余金	△ 196,460
その他	8,932	その他利益剰余金	△ 196,460
		繰越利益剰余金	△ 196,460
		(うち当期純損失)	△ 196,460
		【新株予約権】	4,352
		純資産の部合計	559,326
資産の部合計	882,200	負債・純資産の部合計	882,200

(注) 掲載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式及び関連会社株式・・・・・・原価法

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

製品、仕掛品、貯蔵品・・・・・・総平均法

(3) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

定率法（ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く。）及び2016年4月1日以降取得した建物附属設備並びに構築物については定額法）を採用しています。

なお、主な耐用年数は次のとおりです。

建物	8年～15年
工具、器具及び備品	2年～10年

②無形固定資産

定額法を採用しております。なお、主な耐用年数は次のとおりです。

ソフトウェア	5年
--------	----

(4) 引当金の計上基準

①貸倒引当金

売上債権、貸付金等の債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率によ

り、

貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しておりま

す。

(5) 重要な外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 資産から直接控除した貸倒引当金 売掛金 8,574千円

(2) 有形固定資産の減価償却累計額 27,604千円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

当該事業年度の末日における発行済株式の数

普通株式 17,000株

甲種株式 606株

A種種類株式 2,910株

B種種類株式 11,430株